

## 半田久美子主任研究員

博物館には、化石かどうか見てくださいます。丸い石が恐竜の卵に見えたり、石に付いている模様が葉っぱの化石かもしれないと思ったりしたら、本物かどうか確かめたくありませんよね。化石かどうか、どうやって見分けるのでしょうか。

葉っぱの化石なら、葉脈があるかどうかをルーペで拡大して観察します。葉脈とは水分や養



分を通す管で、葉を透かしてみると見えます。管の束は葉の付け根では太く、枝分かれするごとに細くなりながら葉の隅々まで広がっています。葉脈が見られれば葉っぱの化石と言えます。これと同じように、卵の化石についても、卵の殻の構造が残っていれば化石だと言うことができます。

図鑑で調べるのはお勧めできません。なぜなら調べるのに花や実も必要だからです。ここでは、葉で調べる植物図鑑を使ってください。はじめは葉の写真が実物大で載っている種数の少ない図鑑が使いやすいです。葉の形や大きさ、葉の縁のギザギザ、葉脈の走り方に着目して調べます。葉の付き方が対生か互生かも調べるポイントなのですが、化石の葉が枝に付いた状態で見つかることはまれなので、たいてい分かりません。仕方ないので両方の項目をチェックしましょう。よく似た葉が見つかったら、その植物の祖先にあたる化石かもしれない。植物にあまりなじみのない人

神戸層群のムカシブナの葉の化石



は、葉の化石の種類を調べて、これはケヤキの仲間、これはクヌギの仲間とお伝えしても、ピンとこないかもしれません。まずは身近な植物に親しむことから始めてみませんか。そんな方にお勧めなのがフロッタージュです。フロッタージュは細かいでこぼこを紙に鉛筆

で写し取る方法で、「こすりだし」とも言います。葉っぱの上に紙をのせて鉛筆でさーっとこするだけで葉脈が浮かび上がります。1枚の葉全体をきれいに写し取ることで、先端や付け根の形、葉の縁のギザギザ、葉脈の走り方、葉柄の長さなど、特徴をチェックできます。気付いた点をメモしておく、葉の種類を調べたり、化石と比較したりする時に役に立ちます。

神戸層群とよばれるおよそ3800万年前の地層からは葉の化石が産出します。神戸層群は神戸市須磨区から西区、北区にかけてと、三田市、三木市、小野市、加東市、西脇市に分布しています。皆さんの家の近くには地層が露出しているところはありませんか。植物の化石が見つかるかもしれません。

# ひとはく 研究員 だより

## 葉の化石

# 葉脈や柄など観察し特定